

事業所名 グループホーム 友愛
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士
B:現職 介護事業所総括責任者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・倉敷市中心部の住宅地にあり、すぐ近くには遊歩道公園があり、散歩を楽しんだり野の草花など自然に親しむことができる。買い物や交通の便が良く、生活しやすい環境でもある。
- ・既存の3階建て住宅を改修し、2、3階部分にホームがある。2階の玄関までの階段や、2階から3階への階段には昇降機が取り付けられており、改修や職員の工夫でハード面の不便さを上手くカバーしており、少しでも住みやすい「我が家」作りに入力している。
- ・開設以来、主だった職員が変わらずに入居者のケアにあたっている。法人内の異動も無く、入居者と職員は本当の家族のように過ごしており、何も言わなくても分かり合える関係でもある。認知症の方にとって、気心の知れた職員に囲まれて過ごすことは何よりの安心感であろう。
- ・階段等が多いことから、歩行困難になった場合、ホームでの生活が難しくなるが、少しでも長くホームで過ごしてもらいたいという職員の思いがあり、生活の中で身体機能の維持・向上に積極的に取り組んでいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・現在ホームの中で実践されていることを記録に残し、再度振り返って確認し、日々のケアの見直しに繋げていけることを期待する。
- ・市内の中心部にあり、地域との連携は難しい課題とは思いますが、運営推進会議を定期的に開催し、維持していけることを願いたい。

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | ○ | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か(記述) | | |
| | <p>『1. 24時間の専門的ケアと家族や地域ボランティアの協力のもと、入居者の心身の潜在能力を引き出し、よりその人らしく生活していただく 2. 人としての尊厳を守る 3. 社会参加の機会を提供し、出来る限り自立へ向けての援助を行う』ことを心がけ、日々ケアに取り組んでいる。</p> <p>・一日でも長く自力歩行が続けられ、一日でも長くホームで過ごしてもらえよう、あらゆる場面で出来る限り自分で歩いて(動いて)もらうように働き掛けている。</p> <p>・入居者と職員が家族のように信頼し合える関係を築き、家庭的な雰囲気の中で安心して暮らせる場所の提供を目指している。</p> | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | ○ | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | ○ | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | ○ | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | ○ | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) | | |
| | <p>・昼間、入居者のほとんどが時間を過ごす居間の中にその人が安心して過ごせる居場所作りを行っている。入居者同士が愛称で呼び合うなど、より密接な関係ができています。また、職員は、入居者にとって時には嫁や娘、孫でもあり、共に暮らす家庭という場づくりに取り組んでいる。</p> <p>・既存の住宅を改修したホームで、改修を重ねてより使いやすくし、職員の工夫も加えて居心地の良い我が家作りを継続して行っている。</p> <p>・職員の異動も無く、馴染みの職員が変わらずに傍に居るとい安心感は何ものにも代えがたいものである。職員の定着、継続は入居者に精神的安定を与えており、ホームは入居者が安心して生活できる場所ともなっている。</p> | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | ○ | |
| 7 | 個別の記録 | ○ | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | ○ | |
| 9 | チームケアのための会議 | ○ | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | ○ | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | ○ | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | ○ | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | ○ | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | ○ | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | ○ | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | ○ | |
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | ○ | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | ○ | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | ○ | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | ○ | |
| 21 | 安眠の支援 | ○ | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | ○ | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | ○ | |
| 24 | 身体機能の維持 | ○ | |
| 25 | トラブルへの対応 | ○ | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | ○ | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | ○ | |
| 28 | 服薬の支援 | ○ | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | ○ | |
| 30 | 家族の訪問支援 | ○ | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) | | |
| | <p>・職員が入居者一人ひとりを良く理解しており、入居者がやりたい事やできる事等、それぞれの希望を叶えられるように支援している。</p> <p>・入浴の時や排泄の時には、入居者の不安や羞恥心に配慮し、自尊心を傷つけないよう注意して声をかけている。また、カーテンで仕切り、見えにくいようにする等工夫も凝らし、プライバシーの保護に努めている。</p> <p>・食事の準備や後片付け、洗濯物をたたむなどの家事等、これまでの生活歴や力を活かした役割作りを行い、張り合いや喜びのある日々を送ってもらえるように取り組んでいる。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | ○ | |
| 32 | 災害対策 | ○ | |
| 33 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | ○ | |
| 34 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | ○ | |
| 35 | 運営推進会議を活かした取組 | ○ | |
| 36 | 地域との連携と交流促進 | ○ | |
| 37 | ホーム機能の地域への還元 | ○ | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) | | |
| | <p>・開設当初から建物の使いにくい箇所を職員の工夫で改良したり改修したりして入居者が使いやすいように改善している。今後は、物干し場やトイレ・リビング等の改修も考えている。階段の上り下り等で足腰を鍛えるなど、ハード面の不便さも上手く利用して、入居者の身体機能の維持・向上を図っている。</p> <p>・職員の交代や異動がなく、同じ職員で入居者のケアにあたっている。様々な取り組みに対する職員の意欲や意欲が高く、職員が協働してケアサービスの質の向上に努めている。</p> <p>・入居者が安心して日々過ごしてもらえるよう、家庭的な温もりのある雰囲気作りを努めている。入居者一人ひとり状況や状態が違うが、一人ひとりへの細かな配慮で、入居者の安全な生活を守っている。</p> | | |